

## Contents

❖ 金融機関と大学の連携	1
❖ 活動報告(11~12月)	2
❖ 平成24年度広島大学産学官連携実務研修会報告	2
❖ 産学連携商品紹介	3
❖ 産学連携研究・研究会助成**会員企業ニーズ募集	3
❖ これからの活動(イベント)情報	4
❖ コーディネーター紹介	4
❖ 編集後記	4



## 金融機関と大学の連携

株式会社広島銀行 専務取締役 蔵田和樹



新年明けましておめでとうございます。

本年も広島銀行は、地域の皆様との強い信頼関係で結ばれた金融機関を目指して従事者一同努力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

さて、弊行では、社会や経済の情勢が目まぐるしく変化していく中、「地域密着型金融」を実現するため、これまでのような資金面でのお取引だけではなく、お取引先様の経営目標の実現や経営課題の解決に向けて最適なソリューションの提案を行い、事業成長へのご支援を重点目標として取り組んでおります。お取引先様の課題の中には、弊行だけでは対応の困難なものもあるため、様々な機関と連携して解決に取り組ませて頂いており、特に技術的な課題の解決には、広島大学を始めとする大学や研究機関の協力を頂きながら、お取引先様のご支援をさせて頂いております。

近年では、これまで言われてきた産学官連携に、金融の「金」を加えた産学官金連携という言葉をよく耳にするようになって参りました。これは、資金面もさることながら、金融機関が保有する情報やネットワークが、産業の発展に非常に重要な役割を担っているということとして認識しており、我々と致しましても役割の大きさに、身が引き締まる思いを感じております。

これからも、広島県に本店を置く地方銀行として、お客さまとともに歩み、お取引先様、そして地域の活性化に向けて、微力ながらお役に立てればと考えております。

最後に、この一年が皆様方にとって良い年になるよう祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



## Report 1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム

第16回(11月12日)の講師は、産学・地域連携センターの山田一徳特命教授。「機能性食品の開発事例【初級編】」と題して、一般の食品と栄養機能性食品、特定保健用食品(トクホ)の差異の解説。機能性食品の開発の実例と、最近の「薬事法などに抵触しない非トクホ機能性食品の告知方法」に関する企業戦略について実例を挙げて解説を行いました。

第17回(12月10日)の講師は、工学研究院の關谷克彦助教。「切削加工の基礎」と題して、切削加工の基本的な事項と、切削加工時に見られる代表的な工具損傷とその原因について解説を行いました。(Y. Y)



## Report 2 第6回研究紹介と交流のゆうべ 開催報告

平成24年10月31日(水) 17:30より、ひろしまハイビル21(広島市)にて「第6回研究紹介と交流のゆうべ」を開催しました。

地元中小企業の皆様に大学の普段の活動をご紹介することを目的に開催する本会ですが、今回は「インドの産業発展—自動車産業とIT産業—」というテーマで、文学研究科人文地理学・経済地理学の友澤和夫教授に講演をして頂き、その後友澤先生も交えての交流会を行いました。

27名の参加者の皆様には、第一部はインドの産業発展のご紹介を熱心にご清聴頂き、また第二部では非常に活発な交流を行って頂きました。

次回は、平成25年1月17日(木)に「デザインの役割—デザイン思考でうまれる、売れる商品—」と題しまして、教育学研究科江崎教授に講演して頂きます。

皆様のご参加をお待ち致しております。(F. O)



## 平成24年度広島大学産学官連携実務研修会「地域から海外までの広いネットワークを活用した技術移転事例」 文部科学省イノベーションシステム整備事業「大学等産学官連携自立化促進プログラム(コーディネーター支援型)」

**日時** 平成24年12月6日(木) 13:00~17:00

**開催場所** 広島ガーデンパレス

**主旨** 大学等の一般教職員及び理・工、ライフサイエンス、社会科学分野で産学官連携を担当する実務者、コーディネーター等を対象に、幅広い技術移転事例を学習して、産学官連携活動の理解を深め、人材育成にも役立つ。

**開催内容** 地域から海外までの広いネットワークを活用した技術移転事例の紹介とパネルディスカッション。

当日は、学内外から61名の聴講者を迎えて広島大学産学官連携実務研修会を行いました。学内の教職員、近隣の大学、官、企業の方々、遠方の大学、機関の方々の参加者から様々なコメントや意見を頂き、熱のこもった討論ができました。また、当日、米国の技術移転エージェンシーを招き国際技術移転に関する講演を受け、フロアと演者との熱心な質疑応答が交わされ有意義な研修会となりました。(M. M)

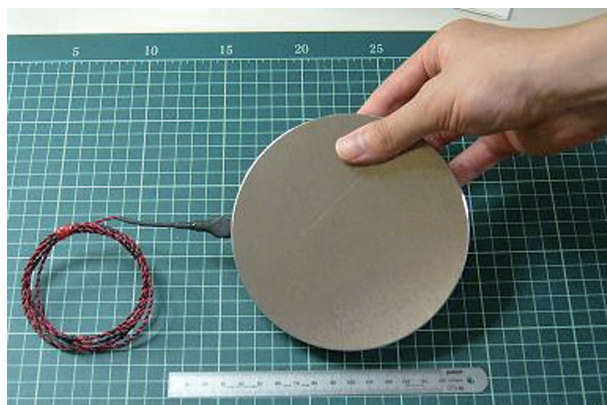


このページでは、企業と広島大学との共同研究の結果、商品化につながったものを紹介して参ります。

# 産学連携商品紹介

## 変動荷重センサ 圧電応用センサ

広島大学大学院工学研究院の藤本由紀夫教授と新宅英司准教授の研究により生まれた圧力センサ、剪断力センサ、曲げセンサ。薄く軽量で柔軟という圧電フィルムの特徴を生かしたセンサは、変動荷重とくに振動荷重や高速衝撃荷重の計測に優れた性能を発揮します。センサ質量が小さいので、振動や衝撃時の残余波形がほとんど生じません。



### 商品情報

2006年販売 売上数量200個



### 関係機関・研究者

(有)計測サポート、広島大学（藤本由紀夫教授）

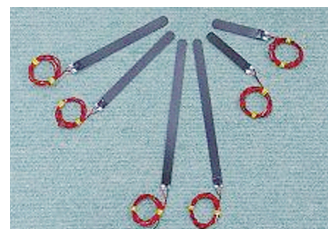


### 問い合わせ

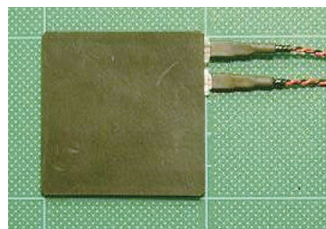
広島大学工学研究科 TEL：082-424-7813



各種曲げセンサ



鉄の切断衝撃



2軸擦り力計測シート



全周囲の変動荷重

次回以降、会員企業様の紹介記事の掲載を検討しています。掲載をご希望される会員企業様は、E-mailにてご連絡下さい。

E-mail：techrd@hiroshima-u.ac.jp

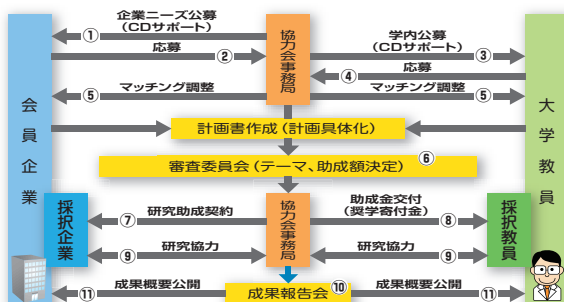
## 産学連携研究・研究会助成\*\*会員企業ニーズ募集

— ふるってご応募ください。 —

**助成内容** 1件あたり30万円、年間10件を上限として助成を行います。助成金は広島大学の研究代表者に交付し、研究あるいは研究会活動に活用されます。

**応募条件** 会員企業からのニーズに基づき広島大学の教職員が研究を行う、あるいは会員企業と研究会活動を行うものであり、1年以内の期間で、一定のまとまりを有する成果が期待されること

### 研究助成全体の流れ



- ① 企業秘密の保持
  - ・応募情報は関係者外秘とする
  - ・学内公募は学内限定ウェブで概要のみ公開とします
  - ・採択決定後は守秘条項を含む契約を締結します
  - ・成果概要公開の内容は当事者協議により決定します
- ② 応募ニーズと大学教員とのマッチングは大学の産学連携コーディネーターが支援します。
- ③ 協力会会員への透明性
  - ・審査委員会のメンバーには活動評価委員会の委員を含めます
  - ・成果概要を会員に公開します (テーマ名、製品分野、技術分野、主要成果等)

### 会員企業ニーズ募集

- ・募集期間：随時受け付けます。(計画案件採択後締め切り)
- ・応募書類：所定の申請書に必要事項を記入の上、提出ください。
- ・申請書はこちら→ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/14/kyouryoku/jyoseimou2.pdf>

### 審査及び採択

・学内教員とのマッチングが成立後、書類審査により助成対象を選定します。なお、場合によっては、面接(申請者によるプレゼン)等をお願いする場合があります。

### 応募書類提出先

広島大学 社会連携グループ 総務担当 松田  
TEL：082-424-4497 FAX：082-424-6189 E-mail：syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

### 本事業内容お問合せ

広島大学 産学・地域連携センター国際・産学連携部門  
TEL：082-424-4302(代)

# これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協力会の今後の活動予定をお知らせいたします。  
ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

1月

## 1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第18回) 「切削加工条件選定とトラブル対策の考え方」

日時 1月15日(火) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 工学研究院 關谷 克彦 助教

## 2 第7回 研究紹介と交流のゆうべ

「デザインの役割ーデザイン思考でうまれる、売れる商品ー」

日時 1月17日(木) 17:30~19:30

場所 ひろしまハイビル21 (広島市)

講師 教育学研究科 江崎 哲 教授

費用 会員無料 (交流会1,000円)

## 3 国際産学官連携戦略シンポジウム

日時 1月31日(木) 13:00~17:15 (シンポジウム) 17:30~19:00 (交流会)

場所 メルパルク広島

費用 無料 (交流会は別途会費を頂きます)

2月

## 1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第19回) 「溶接・接合技術のトピックスと基礎 I」

日時 2月12日(火) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 広島大学客員教授・NPO 法人 ATAC ひろしま コーディネーター 真鍋 幸男

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/>

産学官連携推進研究協力会についての入会方法および活動情報の URL は  
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/kyouryokukai/> をご参照ください。

## ■ コーディネーター紹介 no.08

企業の皆様からのご相談に対応する、産学官連携コーディネーターを紹介致します。第8回は鬼頭幸三氏。



### 鬼頭 幸三 Kozo Kitoh

担当業務: 技術相談、共同研究受入れ、  
国内海外対応

技術分野: 流体工学、数値流体力学、  
車両空気力学、自動車技術他

職歴等: 自動車関連企業・機関出身

TEL: 082-424-4308

E-mail: kkitoh@hiroshima-u.ac.jp

### ひとこと:

一昨年から広島大学において産学連携の仕事に従事しております。今まで特に経験を積み重ねてきた分野は自動車の空気力学や空気力学への数値流体力学 (CFD) の応用です。

コーディネーターとして、広島大学における CFD 研究メンバーの幅広い経験と知恵を自動車技術のみならず、皆様の日常の種々の流体関連問題の解決のために、展開していくことができればと思っています。何なりと遠慮なくご相談していただければ、大変嬉しく思います。よろしく申し上げます。

## 編集後記

日に日に寒さが増してきて、炬燵の季節になってきました。炬燵にはアイスクリームが欠かせないものと思ってる私は、先日友人に炬燵に入ってアイスクリームを食べる時が至福の時という話をすると、だから太ると一言・・・楽をして痩せようとする私にとっては、キツイ一言・・・ (F.O)



発行: 産学官連携推進研究協力会事務局 (広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内)

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL: 082-424-5673 / FAX: 082-424-6189 / E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先: 広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL: 082-424-4302 / E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp